

八戸ロマン時空探検隊

アートとコミュニケーションの力で
縄文文化をもっと身近に！

コミュニケーションアーティストの YORIKO 氏が隊長となり、市民と結成した探検隊が、専門家の方々の力を借りながら、歴史に隠されたロマンとミステリーを、現代の目線から楽しく追っていくプロジェクト。中心街の空き店舗に探検隊の基地を作り、約 1 か月の間、仲間と共に縄文文化について学びました。

アーティスト：YORIKO

●結団式・縄文基礎知識ツアー●

これから 1 か月一緒に活動する隊員の人々と結団式を行い、是川縄文館で基礎知識ツアーを開催！小久保学芸員さんにわかりやすく教えてもらいました。



●縄文人なりきりアイテムづくり●

三日町のビルの空きテナントに探検隊の基地を作り、全5回のワークショップで「自分が縄文人だったら」をテーマに、縄文の衣服、土偶、竪穴式住居模型、楽器を制作。縄文時代の美意識やアイデアを参考にオリジナルの縄文アイテムを制作しました。



●縄文合宿●

「縄文人になりきる」をテーマに縄文合宿を開催。トチの実入りのお焼き作り、土偶の野焼き、縄文音楽、ダンス、天体観測と、さまざまなコンテンツで縄文人になりました。最後に小久保先生に自分の学んだことを発表！みんな 1 か月で縄文博士になりました。



草木染めた布たち



トチの実入りのお焼き



アーカイブ展の様子

協力：是川縄文館、是川文化財愛護会、中央ビル、御所野縄文博物館、種差少年自然の家、中村雅子、サム助、左京和子